

◎コメリアンコーワ錠 [内]

【重要度】 【一般製剤名】 ジラゼブ塩酸塩 dilazep dihydrochloride 【分類】 心・脳・腎疾患治療剤

【単位】 ◎50mg・▼100mg/錠

【常用量】 ■狭心症, その他の虚血性心疾患 (心筋梗塞を除く) : 1回 50mg, 1日 3回

■腎機能障害軽度～中等度の IgA 腎症 における尿蛋白減少 : 1回 100mg, 1日 3回

【用法】 分3

【透析患者への投与方法】 透析患者の投与方法に言及した文献なし (5)

【保存期 CKD 患者への投与方法】 腎不全患者の投与方法に言及した文献なし (5) 腎疾患では Ccr 50mL/min 以上の IgA 腎症における尿蛋白の減少に用いる (1)

【特徴】 アデノシン増強作用、Ca 拮抗作用などで冠状動脈、脳動脈、腎動脈の血流量を増加。持続的な血小板凝集抑制、赤血球機能、血液流動性の改善作用を有する。糸球体基底膜の陰性荷電の減少を抑制し、尿蛋白を減少、腎血流量を増加、GFR を維持、腎組織病変の進展を阻止するなどの腎機能改善作用が動物で確かめられている。血圧、心拍数には影響しない。

【主な副作用・毒性】 頭痛、めまい、不眠、いらいら感、動悸、頻脈、顔面紅潮感、胸部圧迫感、起立性低血圧、消化管障害、白血球増多、一過性の ALT 上昇、苦味感など

【tmax】 0.8～1hr (1)

【代謝】 塩酸ジラゼブの 2 個のエステルが順次加水分解される経路により代謝 (1) ラットでは尿中に未変化体は認められず、代謝物としては TMB、BHPD、Mono-Ester が存在 (1)

【排泄】 尿中回収率 43% (1) 未変化体としては排泄されない (1)

【t1/2】 3.04hr (J Pharmacol Sci 78: 281-284,1989) 1.5hr (1)

【蛋白結合率】 92～94% (1)

【Vd/F】 単回投与データより少なくとも 60L/man (5)

【MW】 695.63

【透析性】 蛋白結合率が高いので透析性は低いと思われる (5) データなし (1)

【TDM のポイント】 TDM の対象にならない 【O/W 係数】 資料なし (1)

【備考】 脳血管障害に長期使用すると改善効果が低下する傾向があるので漫然と投与しない。脳動脈硬化症に使用する場合には 40 歳以上で症状は頭痛、めまい、記憶力減退、手足のしびれ感、言語障害、筋緊張亢進、歩行障害があるなどの診断基準の項目を満足し、かつ脳の局所症状を示さず脳動脈硬化に起因する脳循環障害によると考えられる精神症状を持つ患者だけを対象にする。

【更新日】 20161227

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、

直接または間接的に生じた一切の問題について、当院でいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。